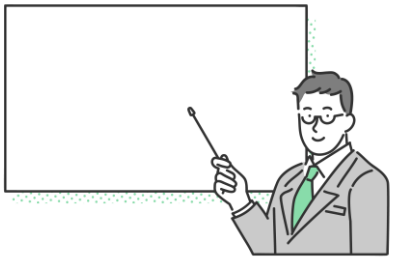
11月はねんきん月間

日本年金機構は厚生労働省と協力して、
公的年金制度の普及・啓発活動に取り組んでいます。
この機会に公的年金について考えてみませんか？

いいみらら
11月30日は
年金の日

日本年金機構の取り組み内容

セミナー・年金制度説明会・出張年金
相談会を開催！



日本年金機構公式X（旧Twitter）・公式
Facebookで公的年金制度について発信！

日本年金機構
公式X（旧Twitter）

日本年金機構
公式Facebook

年金セミナー動画や「わたしと年金」エッセイ
優秀作品等を掲載した「ねんきん月間」特集
ページを日本年金機構ホームページに開設！



その他、多数の企画を実施します。詳しくは、日本年金機構ホームページをご覧ください。

日本年金機構　検索

https://www.nenkin.go.jp

日本年金機構
Japan Pension Service

「わたしと年金」エッセイアニメーション動画のご案内

「わたしと年金」エッセイの受賞作品をアニメーション化し、日本年金機構ホームページに掲載しています。学生の方や現役世代の方の体験談から、年金についてわかりやすく学べる内容となっていますので、ぜひご覧ください。

「わたしと年金」エッセイとは

日本年金機構では、公的年金の大切さや意義を皆さまと一緒に考えていきたいと思い、毎年公的年金を題材とした「わたしと年金」エッセイを募集し、優秀な作品を表彰しています。

＜「わたしと年金」エッセイアニメーション動画案内ページ＞

① パソコンの場合
日本年金機構ホームページよりご視聴ください。

「わたしと年金」エッセイアニメーション動画　検索

https://www.nenkin.go.jp/tokusetsu/animation.html

② スマートフォンの場合
以下の二次元コードを読み取り、ご視聴ください。

https://www.nenkin.go.jp/tokusetsu/animation.html

令和7年度厚生労働大臣賞　受賞作品

あらすじ

癌を患い、入退院を繰り返しながら治療を続けていた父が亡くなった。

落ち込んでいる家族を待っていたのは、生活費や学費などのたくさんのお金の負担だった。そんなときに頼ることになったのが遺族年金だが、それはただのお金ではなく、父が生きていた証だった。



令和7年度日本年金機構理事長賞　受賞作品

あらすじ

小学校教師として働いていた私は、ある日突然、脳梗塞で倒れ、左片麻痺となった。

定年退職した夫の収入だけでは、生活費、治療費、学費などをまかなっていくのは厳しい状況だったが、障害年金の受給が早々に認定され、私の希望の光となった。

